

小沢小だより

令和 3年12月10日

第 17 号

豊橋市立小沢小学校



人権イメージキャラクター
人KENまもる君



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん

人権週間(12月4日~10日)

学校では、全校児童で「人権を理解する標語づくり」に取り組みました。また学級では、道徳の授業により人権について考える機会を設けています。ご家庭でも話題にいただき、人権への理解を深めていただければと思います。

11月29日(月) 朝会での校長先生のお話 ~人権週間講話「跳び箱」~

これから人権についてお話します。12月4日から12月10日までを人権週間と言います。そしてその最後の日、12月10日は「世界人権デー」とされています。それにちなんで、日本中の学校では、毎年12月のはじめのこの時期に「人権週間」というのを設けて、子どもたちに人権について考えてもらっています。

人権とは「人は誰もがその人らしく生きていくことができる権利」のことです。しかし、今も世界のあちこちで、戦争やテロで、多くの人々が死んだり、家族をなくしたりしています。日本でも、毎日のように事故や事件で命を失う等悲しい出来事やあってはならないような事件が起っています。

みなさんの身近なことでは、友達への悪口やいじめ、差別、大人からの虐待・・・といったことがあります。人はみんな違います。顔や体の大きさ皮膚の色。性格、男の子と女の子・・・など、みんな一人一人が、かけがえのない命をもって、その人なりに精一杯生きています。人はみな、その人なりに、人として生きる権利をもっているのです。ですから自分を大切にすることはもちろんですが、同時に他の人の命や他の人の気持ちも大切にしていかなければなりません。

みなさんのお家の人は、みなさんのことをかわいくて大切な宝物のように思っています。ですから、自分の命や体を大事にすると同時に、友達や周りの人のことも大事にしていってほしいと思います。

今から熊本県の小学校3年生の女の子が書いた「とびばこ」という作文を読みます。

『私は、体育の時間が好きではありません。なぜかというところ走の速くないし跳び箱や鉄棒や一輪車も、ほかの友達はできるのに、私だけできないのです。それに、失敗してみんなから笑われるのが悔しくていやだからです。

11月26日 今日の体育は跳び箱です。準備体操をして、みんな、跳び箱の用意を始めました。私はもう、逃げ出したい気持ちでいっぱいです。用意ができました。真一郎君から、次々に跳び始めました。いよいよ私の番です。どきどきしながら跳んでみると、やっぱり失敗しました。2回目も失敗してしまいました。3回目は、友達の跳び方を見て、さっさとちがう跳び方をしてみました。…だけど、やっぱり跳べませんでした。何回跳んでもお尻が跳び箱の角に当たってしまいます。初めは小さく聞こえていた笑い声が、どんどん大きく聞こえてきました。その時「笑うな!」と、大きな声が聞こえました。和馬君です。体育館が一瞬シーンと静かになりました。私もびっくりしました。しばらくすると、「笑ってごめん」とか「がんばれ、がんばれ」「もっと勢いをつけると跳べるよ」と言うみんなの声が聞こえてきました。私は思っきり走り出しました。そして、手を強くつかました。身体が高く浮いたと思ったその時、私は跳び箱を越えていました。やったあ、とうとうできたんだ。夢じゃないんだ。跳べたんだ。私はとても信じられませんでした。みんなの拍手が聞こえてきました。』…というお話です。

みなさん、どうでしたか。あなたは笑う人ですか。「笑うな」と言う人ですか。「がんばれ!」と応援する人ですか。小沢小の誰もが「学校は楽しいな」と思う学校にするにはどうしたらよいか、自分で考えてみましょう。



小沢小のみなさんへ：友達を大切にすることってどういうこと？ まずは、みんなで作ってみよう。

あだ名・よびすて・わる口は言いません

